

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービスRふらっぴ

支援プログラム

作成日

2025年

1月

27日

法人（事業所）理念		生きるチカラをそだてよう！						
支援方針		自立支援(好奇心や出会いを大切に、自分で考えて行動し、振り返って成長する) 職員は「環境を整える」を一番に考え、全ての出来事や体験から自分で成長するよう見守り、助言する。						
営業時間		10時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	心身の健康状態の見守り、確認、助言。習慣として挨拶、手洗いうがいややるべきことをしてから遊ぶことを習慣化する声掛け、環境づくり。障害を含めた個性、性格と、ライフステージに応じた声掛けや考えることを促す。健康に配慮し、水分補給や食事等への助言を行う。						
	運動・感覚	みんなあそびの中の運動遊びやサーキット、ビジョントレーニング、脳トレにて視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚などの感覚活動を行う。個別療育では、つかむ、離す、回すなどの手先のトレーニング、ビジョントレーニング、音楽に日には、音楽に合わせて体を動かす遊びや運動を行う。						
	認知・行動	個別療育にて、粘土や砂、水ぬりえによる物質の変化と感覚の認知形成物の機能や属性、形、色、音が変化する様子の把握、空間・時間等の概念の把握、ブロック遊びによる空間把握の認知形成、ホワイトボードスケジュールにて、見通しや日付の把握と確認による時間の認知形成。みんなあそびや大会、音楽の日など行事で小集団でのゲームでの適切な行動形成、認知の偏りの配慮を行う。季節の変化への、様々なものへの興味や体験から成長を促す為、様々なイベントや行事、壁面制作やお出かけや各種イベントを行う。						
	言語 コミュニケーション	文字・記号、絵カード、機器等の適切なコミュニケーション手段を選択・活用、終わりの会で活動振り返りと気持ちをプレゼンテーションして言語表出・受容、絵本への親しみ。個別または小集団での障害の特性に応じた読み書き。ケンカの仲直りや相談、意見、ディスカッション、気持ちを伝えることにより、コミュニケーションの表現力や相手の気持ちを知る手段としての言語能力、コミュニケーション能力の練習。スケジュールボードやカード、掲示物を使ってあらゆるルールやお知らせの視覚化を心がけている。						
	人間関係 社会性	個別面談や日々の助言の中で自尊心を高める・認める支援を行い、活動前にスケジュールボードで見通しを立てて行動する、自分のやるべきことを確認することでお友達とのお約束などの可否を自分で確認、決定する。自分の気持ちや意見は言ってもよいとし、相談ができるように発言を促す。未就学向けには見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊び・一人遊び、並行遊び、役割分担のある遊びなどの協同遊びを促す。ルールの理解が必要な遊びや集団活動を行事やイベントで行い、地域施設などへの社会見学、イベントなどで季節や知識を得る。						
家族支援		家庭での時間を有意義にするため、宿題を終わって帰ることや、送迎、利用についての相談を承る。レスパイト的な意味も考えた送迎を組んだり、ご家庭との相談で特別なルール(通常ルールとの併用で成立するかは考えるが)を受け入れる。			移行支援		ライフステージを意識した支援 相談支援員の方への情報提供をこまめに行う。	
地域支援・地域連携		相談支援と積極的にやり取りをしている。地域の商店で買い物をする。地域の他デイとの交流なども図っております。			職員の質の向上		研修の機会を予定以外にも職員からの申し出にも有給で出席することや研修にかかる費用を払うなど研修内容や金額によって相談の上、援助している。	
主な行事等		クッキング、工作、みんなあそび(脳トレ・ビジョンゲーム・運動ゲーム)サーキット、音楽の日、ハロウィンイベント、クリスマスイベント、夏祭りイベント。						